

ニコニコボックス： 14日現在累計 43,000円

田中久作君 南ロータリーの田中であり来年もよろしくお願ひ申し上げます。

落合益夫君 約束通り例会事の連名寄附ですのでよろしく、

梨木建夫君 約束通り例会事の連名寄附ですのでよろしく、

中條耕二君 隣で会議中ですみません

山本充君 山上さんの国際大会のお話しを楽しみにしています。

佐藤啓策君 山上さん卓話御苦勞様です。

高橋彰雄君

山崎勲君

梨本清一君 都合により早退しますお許し下さい。山上さん失礼。

山本賢君

ロータリー財団ボックス：

山崎勲君 柄沢委員長に協力

小林満君 柄沢委員長に協力

米山奨学会：

羽賀一夫君 第一回目の例会には急なお願いにもかかわらず2クロもの御寄附を頂きました有難うございました。

山崎勲君

卓話： 「国際大会に参加して」 山上茂夫会員



暫く日本を離れていましたら、失語症みたいで日本語ができません。(笑声)失礼しました。

先回の世界大会からの帰国挨拶で、一寸お話をさせて頂きました。その話した内容はNo.48のクラブ週報の中に出ておりますので、充分かな？と思いましたが、肝心のRI会長の御挨拶等々について触れておりませんでしたので、今日一寸、触れたいと思います。ロータリーの世界大会に参加することは、会議そのものよりも旅行と言いましょか、その機会を捉えているんな所をみて来ることにも意義がある様に

思います。

今回の会議はフリーではなく、会の代表として行って来いと米山会長のお話でしたので、私は忠実にそれを実行しようと努力したんですが、廻る所は非常に広いエリアで天候も不順、飛行機が遅れたり、アッチコッチ乗り継いだり、飛行機に乗っている時間が非常に長かった上に、ホテルから会場へも高速で30分40分かかったもんですから、すっかり腰を痛めてしまいました。

先回お話しなかったかも知れませんが、重田ガバナーともお会いしました。私は重田ガバナー時代に皆さんの推せんで地区のロータリー財団の委員として出ておりました。ロータリー財団学友会と言うのがありますが、克つて財団によって海外留学をした人達が、今も各分野で活躍しておりますが、私の年度にその名簿を作る事ができました。あれやこれやでロータリー財が若い人達や日本の将来を支える人達の為に役立っているんだなあと言う事を実感致しました。ロータリー財団はロータリーの基本部分だと理解させられましたので、一層協力して参りたいと思います。さて大会出席については、12月に申込みと登録料も安く、3月末になると上って行きます。来年はシンガポールで6月13日から開かれますから、早目に申込みの方がよいと思います。私の大会参加料はワイフの分も会から出して頂き、本当に有難うございました。

また、今日は落合年度の冒頭で大事な時間を頂戴し、大会報告をさせて頂く事を光栄に思っておりますが、ガバナーのクラブ訪問前に少しでも早目に、R I 会長方針などをお伝えできればと思っております。私の世界大会参加は会長時代のフロリダのオーランドと今回のインディアナポリスで2回目です。ハイライトの大会開会式はメンバーが一堂に会する場所で、各国の国旗を持っての入場行進が行なわれます。行進は華やかで大会を盛り上げるに充分な興奮と大きな感動を与えます。入場はアルファベット順でUSAはラスト近くです。今回はグルジア、エリトリア、モルドバが加わり159ヶ国となりました。大会期間中は各国語版で大会日報が出て、大会の内容やイベントの紹介などが行なわれています。

会長の御挨拶は

『〔ロータリーの心、即ちあなたの住むところ、私達の世界、そこに住む全ての人々に……〕を示す無上の機会を、この大会は与えてくれています。一つは〔グリーンウエイプロジェクト〕〔職業視察ツアー〕また、ロータリアンが国際奉仕として提供する低価格住宅モデルが、会場に展示されています。クラブ奉仕は他の奉仕部門の門戸を開くパートです。本年度は会員増強を達成した地区の表彰をします。今大会では、成し遂げた業績を祝い、新しい挑戦を試みます。ここで過ごす時間を活かし〔奉仕の理解〕を深め〔親睦と友愛〕を楽しみ、ロータリーの理想と原則を強化して下さい』と述べられました。

今年度のレーシー会長は、テネシークックビルRCの会員で製菓会社の会長です。その方針のポイントは、『地域社会への関心』と『子供達を救うプロジェクト』です。ポリオ、貧困、非識字、ホームレス、ヴァイオレンスや社会的罪悪との闘いを進めることです。

このほか大会では、100%ポールハリスフェロークラブ代表13名参加の昼食会や、日本人ロータリアンの為の朝食会も行なわれました。

また、日本語によるフォーラムも開催されました。〔友愛の広場〕での余興や催し物等もアップウィズピープルの歌声で賑やかに、また魔術、音楽、ダンスなどは楽しいものでした。〔職業視察ツアー〕は産業見本市の様なコーナーがあり、大学の宣伝や、インターネットのハードやソフト、